



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

賞の推薦

2022年度宇宙科学奨励賞公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会では、宇宙科学分野で優れた研究業績を挙げ、将来の宇宙科学の発展に大きな役割を果たすことが期待される若い研究者を顕彰し、宇宙科学奨励賞を授与いたします。ここに2022年度の第15回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ (<http://www.spss.or.jp>) に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推薦いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨: 宇宙理学（飛翔体を用いた観測、探査、実験に関連する理学研究）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関: 公益財団法人 宇宙科学振興会

候補者: 上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査: 業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容: 授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日: 2022年10月31日(月) 必着。

表彰式: 選考結果は2023年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2023年3月初旬に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をしていただく。

なお、推薦の手続きの詳細については財団のホーム

ページ (<http://www.spss.or.jp>) をご覧いただき、推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および (3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご提出ください。

お問い合わせ先および推薦書送付先:

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

公益財団法人宇宙科学振興会 事務局

E-mail: admin@spss.or.jp

公益財団法人天文学振興財団 令和4年度天文学業績表彰応募

当財団は、社会における天文学の振興に寄与するため、天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします。

令和4年8月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 古在由秀賞

- (1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）
- (1) 広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
 - (2) 天文学の広報普及に貢献した者（アマチュアも含む）
 - (3) 広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
 - (4) 国際的に天文学の推進（特にアジアの天文学）に貢献した者
 - (5) 天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

(2) 対象

- ・当該年度当初において45歳以下であること（個人または研究グループの代表者）。
- また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

[2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

- (1) 選考基準 以下のいずれかに該当する者
- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な

業績をあげた者

- ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績を挙げた者
- ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

(2) 対象

- ・当該年度当初において50歳以下であること（個人またはグループの代表者）。また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

2. 応募期限：両賞とも令和4年10月末日
3. 選考結果：両賞とも選考委員会で審査の上、結果ついて令和5年1月下旬に文書で通知します。
4. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。応募書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。

shinsei@fpastron.jp

天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。

5. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053
<http://www.fpastron.jp/>

2022年度日本天文学会林忠四郎賞 受賞候補者および欧文研究報告論文賞 受賞候補論文推薦のお願い

林忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2022年11月4日（金）（必着）です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください（論文賞についてはe-mailも可）。なお、封筒には「林忠四郎賞候補者推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、林忠四郎賞については春季年会時、欧文研究報告論文賞については秋季年会時の会員全体集会にて行う予定です。林忠四郎賞の推薦は

2年間有効です（2年目に更新書類の送付も可）。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。その場合、優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2022年度（第27回）林忠四郎賞推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士より日本天文学会にいただいた寄付を基金にして設定されたものです。本賞は、これまで他薦のみであり、選考委員会では他薦が望ましいと考えています。

対象：広い意味での天文学（天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む）における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

受賞資格：本年度当初においてすでに本会正会員である者（個人または少人数の研究グループ）。

授賞件数：原則として1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌（メダル）および賞金（30万円）を授与する。

推薦書の形式：表題は「2022年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年月日、大学卒業年、現職および連絡先（電話、FAX、e-mail）
- 2) 授賞対象とする研究の表題（英語表記も併記）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、FAX、e-mail）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）

2022年度（第27回）欧文研究報告論文賞 推薦要領

この賞は、日本天文学会欧文研究報告（Publications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)）に出版された優れた論文を称賛し、今後も優れた論文が投稿・出版されることを奨励するために設定したものと

です。なお本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねています。

内規改定により、本賞は論文を対象とした賞であることが明確化されました。よって、これまでの「被推薦者との関係」の記載は不要となり、論文の著者（共著者を含む）からの推薦も可能です。

対象論文：原則として2017年12月から本賞締め切りまでに発行されたPASJに掲載された論文の中で、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文をその対象とする。

授賞件数等：原則として2件以内。受賞論文の著者（共著の場合は、すべての共著者）に賞状を授与するとともに、受賞記念講演日より三年以上に投稿された論文一編について、その本文掲載料を無料にするともに、フリーアクセスにて公開する。

推薦書の形式：表題は「2022年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙（e-mailでも可）に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、筆頭著者名、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 推薦理由（1,000字程度）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、Fax、e-mail）
- 4) e-mailで推薦する場合はjimu@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2022年度（第34回）研究奨励賞 候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近おおよそ5年間（※以下参照）における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日（2022年4月1日）にすでに正会員であってかつ35歳以下の者。ただし、産休・育休等により天文分野での活動に空白期間があれば、その年月は考慮するが、原則40歳未満とする。

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌（メダル）および賞金（10万円）を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦（自薦も可）をお待ちしております。選考委員会では推薦された方の中から、

研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2022年11月7日（月）必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由（300文字程度の要旨とA4で2～3枚程度の本文、※最近おおよそ5年間の業績を基本とし、それを遡る数年間にも主業績に至る一連の萌芽的研究があれば積極的に記載して下さい）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）
- (3) 提出先：下記webサイトへのPDFファイルアップロード

今回から、webサイト：<https://www.asj.or.jp/jp/activities/prize/shorei/>を通じてPDFファイルをアップロードして頂く形に統一します。提出書類を一つのPDFにまとめ、ファイル名を「2022kenkyushorei full name」としていただき、webサイトから必要事項をご記入の上でアップロードしてください。“full name”は候補者の氏名です。

2022年度（第22回）天文功労賞 候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、研究機関外での天文活動、例えば長年に亘る天体観測や、突発的な現象の検出・通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠に収まらない天文観測・研究活動です。対象者は、日本在住者、日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体であって、天文学研究を主たる業務としない者とし、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

天文功労賞につきまして、日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々から候補者（団体）の推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、功績題目（1行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内、Fax: 0422-31-5487、e-mail: jimu@asj.or.jp）までお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2022年11月18日（金）までにお送りいただくよ

うお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された候補について、2022年度に受賞対象とならなかった場合でも、当選考委員会において候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の推薦を翌年以降に重ねて行う必要はありません。ただし、推薦内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

2022年度（第5回）天文教育普及賞 候補者推薦のお願い

天文教育普及賞選考委員会

日本天文学会天文教育普及賞は、天文教育や普及活動の分野で特に顕著な貢献をされた個人や団体を顕彰し奨励して、教育普及活動のさらなる発展を期するものです。対象者は、日本国内・国外またはその両方で活動を行った日本在住者や日本国籍を有する個人、または日本に本拠地を置く団体、及び、日本国内で行われた教育普及活動を実施した外国の個人または団体です。教育普及活動が本務の場合も、本来の業務を大きく超え、社会に強い影響を与え、多大な貢献をした場合は対象となります。また、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は天文教育普及賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

つきましては、日本天文学会の正会員・準会員の方々から、候補者（団体）の推薦を広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団体）名、活動名（1行程度）、活動内容の説明を記載し、必要に応じて補足資料（A4紙5枚程度まで）を添付のうえ、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内／Fax: 0422-31-5487・jim@asj.or.jp）にお送りください。フォーマットの指定は特にありません。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

なお、連名で推薦される場合は全員が会員である必要はありません。推薦は随時受け付けておりますが、第5回の選考に確実に間に合わせるには、2022年9月30日（金）までにお送りいただくようお願いいたします。なお昨年度推薦いただいた候補者に関しては再推薦の必要はありません。

なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

2022年度（第5回）日本天文遺産候補推薦 のお願い

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学（以下、暦学も含む）的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物：天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品：天文学上の重要な発見に関する物品や天文学における歴史的意義が高い物品。観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献：歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の管理者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書は本誌巻末のものをご利用ください。以下の日本天文学会のサイトからもダウンロードすることができます。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/designation/heritage/>
必要事項を記入の上、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内／Fax: 0422-31-5487・jim@asj.or.jp）にお送りください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただくと助かります。

2022年度の認定対象の発表と認定証授与式は、2023年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2022年9月30日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

なお、推薦された史跡・事物については、2022年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

研究会・集会

第4回 量子線イメージング研究会 (QBI2022)

名 称：第4回 量子線イメージング研究会
主 催：量子線イメージング研究会実行委員会

○開催趣旨：赤外線・X線・ガンマ線等の光子や、電子、中性子、分子、イオンといった量子線を検出・解析する科学技術は、素粒子・原子核物理学、宇宙物理学、物質科学から生命科学、医学にいたる広い分野で重要な貢献を果たしてきました。近年、これらの領域のイメージング検出技術が著しく発展しています。また、理学・工学や産官学の連携も進み、新展開が生まれつつあります。ここに、分野を横断して「量子線イメージング」を議論する場を設け、科学技術の発展と新分野の創成を目指した研究会を開催します。

第4回目である今年は、理研における対面とオンラインのハイブリッド形式で開催します。研究者や技術者等多くの方にご参加いただきたく思います。

○日 時：2022年9月26日(月)、27日(火)

○場 所：理研新本部棟 2F 会議室+zoomのハイブリッド(コロナ禍の状況によりますが国内参加者は理研における対面会議で、海外からの参加者は基本的にzoom参加のハイブリッドを予定)

○参加費：無料

○登録締め切り：講演希望者、対面参加希望者は8月31日、zoom参加者は9月25日まで。

○SOC：常深博(大阪大学, Chair), 新井康夫(高エネルギー加速器研究機構), 大久保雅隆(産総研), 片山晴善(JAXA), 川人祥二(静岡大学), 須川成利(東北大学), 高橋忠幸(IPMU, 東京大学), 鶴剛(京都大学), 中村哲(東京大学, 事務局), 初井宇記(理研), 幅淳二(高エネルギー加速器研究機構), 宮崎聡(国立天文台), 山谷泰賀(量子科学技術研究開発機構)

○LOC：中村哲(東京大学, 新学術領域「量子ビー

ム応用)」、東俊行(理研, 新学術領域「量子ビーム応用)」、上野秀樹(理研, 新学術領域「量子ビーム応用)」

○研究会Webページ:

<https://lambda.phys.tohoku.ac.jp/QBI2022/>

会務案内

欧文研究報告(PASJ)に関するお知らせ

(1) Author Service システム刷新

出版同意と掲載料支払の手続きを行うためのシステムが8月下旬以降刷新されます。

出版同意手続きに大きな変更はありません。

掲載料支払に関しては、請求書発行手続きの円滑化や請求書発行後でもオンライン上でクレジットカードによる支払いが可能となるなど、従来よりも利便性が向上する予定です。

正会員割引の適用には、投稿手続きの際に会員番号を申請していただく方法に変更されます。

(2) オープンアクセス論文掲載料改定

電子版の料金を以下の通り改定いたします。

改定後の料金は新しいAuthor Serviceによるお支払いから適用されます。

通常料金 328,343円

正会員割引 262,675円

これまで通り上記料金には本文掲載料も含まれており、掲載種別に関係なく料金は一律です。

(3) 購読契約での紙版提供終了

75巻(2023年)より、大学や研究機関に対する購読契約では紙版の提供を止め、電子版のみとします。

但し、移行措置としてどうしても紙版を必要とする購読機関に対して当面の間は学会より紙版を提供することになりました。正会員の希望者への対応に今のところ変更はありません。

(4) カラー印刷料金の廃止

購読機関への紙版提供廃止や紙版印刷方法の変更などの事情により、74巻4号よりカラー印刷料金を廃止すると共に紙版をフルカラー印刷とすることになりました。

欧文研究報告編集部

編集委員会より

天文月報記事投稿用アップローダー

https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/
(URLが変わっています。ご注意ください。)

■ログイン

ユーザー名: geppou パスワード: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面で必要事項を埋めてください。するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「複数のファイルを投稿する」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで、個数は20個まで送信できます。それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またフォームのチェックや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのアップローダーは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

訃報

当学会で1993年5月12日～1995年5月23日に副理事長を務められた松本敏雄氏は2022年7月17日に逝去されました。満80歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2022

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と vol115 (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 江草芙実 (委員長), 市川幸平, 岩井一正, 岩崎一成, 小高裕和, 小野寺仁人, 嘉数次人, 勝田哲, 川中宣太, 津村耕司, 西澤淳, 西塚直人, 秦和弘, 福井暁彦, 仏坂健太, 前原裕之

令和4年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2022年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)